

本日の為替見通し

ポイント

ギリシャ・カティメリニ紙によると、「ギリシャの3か所の刑務所は、収容定員を2倍近く超え、混雑により危険な水準となり囚人の受け入れを拒否している」との報道があった。ギリシャ・イメリシア紙では「ギリシャはEUとIMFで協議し、今年GDP比2%に相当する44億ユーロの債務削減を計画している」とのこと。収容人数が急速に増えた理由は調べていないが、景気の悪化によるものが多く、財政を切り詰めることで、公共部門への予算が削減されていると推測している。

その、ギリシャ債務交換協議に関して、WSJ紙は「ドイツはギリシャに大幅な予算削減を求めており、民間債権者との債務再編合意がドイツとIMFの意見の相違で妨げられている」とある。昨日も「今日中に合意」とか、「数時間以内に合意」とのニュースヘッドラインに相場が動いたが、IIFは「債務交換協議は建設的な話し合いを断続的に継続」と言い、いったいいつになったら合意され、ギリシャ第2次金融支援策の合意実施が決まるのであろうか？

市場参加者の今後の相場感、EUR高(EURUSD上昇=ブル派)、EUR安(EURUSD下落=ベア派)に2極化し、ベア派は一時的な上昇の可能性を気にしながらも、1.200割れを期待し、ブル派は一時的な下落の可能性を気にしながらも、1.400超えを期待している。

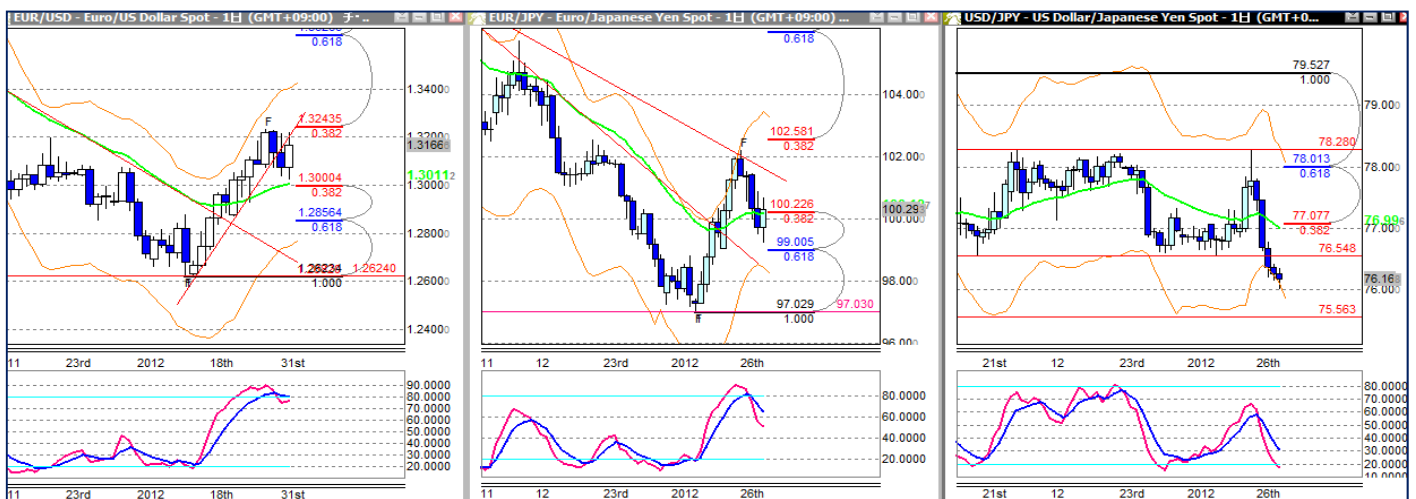
どちらかと言えば、ややベア派が多く、どうしても短期的に戻り売りをし、EURショートポジションが多くなり、結果的に下がらないと上値を買う展開が続くことになる。EURUSDのチャートでは、終値ベースで1.3250を超えてくると、ブル派が多くなり、トレンド変化が一時的なのか、新たなトレンドなのかは別として、市場センチメントはEURブルになりやすい。相場のセオリーとして、市場にブル派が増え、ポジションがロングになると、逆に、EURUSDの下げのチャンスが訪れるのだから……。

心配されたポルトガル国債の入札も順調に終わり、最近ではユーロ圏の債券相場も12月20日のLTROから安定し、債券相場への関心は薄れつつあり、安全資産として選好された、ドイツ・英国・豪国債は下落、逆に、イタリア・スペイン・ポルトガルは上昇、株価も強く、商品相場も安定し、ドル安=AUD+NZD+CAD高が続き、リスクオンの流れが続いている。しかし、これも、ギリシャの債務交換交渉の落ち着きどころを確認しないと、不安でしょうがない。

USDCADは終値ベースで1.0を割り込み、CADドルの上昇予想が多い。AUDUSDは、ギラード豪首相は「今後数年間に渡り比較的高水準にとどまる見通し」とあるが、そうでなくても、本邦からのAUD買いの流れは強く、2月7日に豪中銀による0.25%の引き下げを織り込みながらも、AUDUSDの先高感強い。

今日は、ギリシャ債務交換協議に関するニュースと、バーナンキ米FRB議長の下院予算委員会(経済情勢について)の証言を注目した

マーケット・レベル



EURUSD(日足) = 25日指数移動平均線は1.3011、この線を下限に上昇を続けている。DOPup=1.3402、DOPdn=1.2746。スロー・ストキャスティックは%K=77.30、%D=79.61で、売りを継続しているが昨日と異なり%Dは上昇し、ベースは買われ過ぎゾーンにとどまる。

EURJPY(日足) = 25日指数移行平均線は100.19、終値ベースでこの線をやや上回る。DOPup=103.45、DOPdn=98.44。スロー・ストキャスティックは%K=50.38、%D=64.18、売りを継続し、ベースはニュートラルゾーンに位置している。

USDJPY(日足) = 25日指数移動平均線は76.99、この線を割り込み続落している。DOPup=78.34、DOPdn=76.11。スロー・ストキャスティックは%K=17.05、%D=30.86で、売りを継続、ベースは売られ過ぎゾーンに入っている。

本日のCFD見通し

ポイント

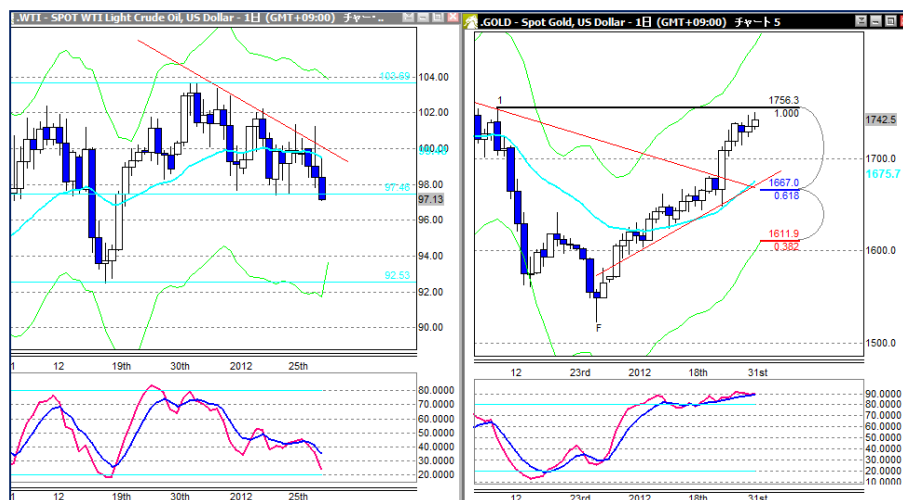
◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

EMA は 99.48 でこの水準が当面の上限となっている。ストキャスティクスは売りのサインがクリアになっているが、ベースは 20~30 で売られ過ぎ感が残る。米 EIA 週間石油在庫統計で、終値ベースでは最近の安値を更新し、12月21日以来の水準まで低下、目先のポイントであった 97.46 を割り込んだことで、ベアになりやすいが、欧米の経済指標は比較的強く、リスクアセットは比較的堅調に推移し売り圧力は相殺される可能性もある。ギリシャ債務交換協議からリスクオフの流れが変われば、要注意。上値のポイントは 99.48、99.85。下値のポイントは 92.53、91.73。

◎Spot.Gold

EMA は 1675.68 で、安定した上昇トレンドが続いている。ギリシャ債務交換協議の結果にも左右されると思われるが、実需筋の買いが続く、リスクオンの流れも加わり、日中の値動きも押し目買いが続いている。EMA とのかい離が引き続き大きく、調整局面をも意識しながら、底値を探る展開が続くそうである。上値のポイントは 1756.3、1823.83、下値のポイントは 1667~75、1599.32。

マーケット・レベル



Spot.WTI (Light Crude Oil) (.WTI 日足) = 25 日指数移動平均線は 99.48、この線を終値ベースでは下回る展開が続いている。DOPup=104.19、DOPdn=91.73。スロー・ストキャスティックは %K=24.42、%D=35.41 で、売りの流れへ変化し、ベースや売られ過ぎゾーンに入っている。

Spot.Gold (.GOLD 日足) = 25 日指数移行平均線は、1675.68、この線を下限に上昇している。DOPup=1823.83、DOPdn=1599.32。スロー・ストキャスティックは %K=90.04、%D=89.25 で、上昇トレンドの継続にはっきりとせず。ベースは買われ過ぎゾーンで引き続き推移。

2月2日(木曜日) 注目の経済指標 その他

発言・その他

- 19:00 フランス国債入札
- スペイン国債入札
- 23:00 ポーゼン英中銀委員 講演
- 23:00 エバンズ・シカゴ連銀総裁 講演
- 00:00 バーナンキ米FRB議長 下院予算委員会で経済情勢について証言
- メルケル独首相 中国訪問(〜4日)

注目の経済指標

- 09:30 豪 12月 貿易収支
- 22:30 米 第4四半期 単位労働コスト・速報
- 22:30 米 週間新規失業保険申請件数

2月2日(木曜) 本日の主な経済指標と発表予定

9:30	AUD 12月 住宅建設許可件数=前月比予想 2.0% 前回 8.4%、前年比予想 -22.1% 前回 -18.9%
9:30	AUD 12月 貿易収支=予想 12 億豪ドル 前回 13.8 億豪ドル
16:00	CHF 12月 貿易収支=予想 25 億スイス 前回 30 億スイス
18:30	GBP 1月 建設業 PMI=予想 52.5 前回 53.2
19:00	EUR 12月 生産者物価指数=前月比予想 -0.1% 前回 0.2%、前年比予想 4.4% 前回 5.3%
21:30	USD チャレンジャー人員削減数=前年比予想 前回 30.6%
22:30	USD 第4四半期 単位労働コスト・速報=前期比予想 0.8% 前回 -2.5%、非農業部門労働生産性=前期比予想 0.8% 前回 2.3%
22:30	USD 週間新規失業保険申請件数=予想 35.35 万件 前回 37.7 万件

昨日(2月1日)の海外市場の動き

昨日も色々な材料が提供された。ギリシャ債務交換協議の合意とギリシャ第2次支援の実施合意が近いとの思惑。欧州の景況感は比較的良好。ポルトガル債入札は利回りが前を下回り、低格付け国の債券利回りも低下。株式市場は大幅上昇し、リスク許容度が高まりリスク資産が上昇し安全資産が下落。結果、ドル安+クロスで円安の動きへ、しかし、USDJPYの上値は重く円高傾向が続いた。

- ◎豪経済に関連する経済指標は強弱混在→ 中国の製造業 PMI は 50.5 で 50 を超え予想・前回は上回るが、豪住宅関連の指標は弱く、HSBC 製造業 PMI は 48.8 と引き続き 50 を割り込む→ AUDUSD の買いは限定的
- ◎豪ドルに影響を与える発言は強弱混在→ 謝旭人・中国財政相は、中国経済の下振れリスクとインフレリスクを危惧し、ギラード豪首相は豪ドルが比較的高水準で推移と予想、AUDUSD は狭いレンジで取引が続く
- 午後 6 時に主要通貨でドル売りの流れが加速→ ギリシャ政府と民間債権者との債券交換協議は 2 月 1 日に合意する可能性
- ◎欧州株価はオープン直後から大幅上昇へ、独・英国・豪 10 年債利回り急上昇→ 安全資産からリスク資産へシフトか？ リスクオンの流れにドル全面安へ、AUD+EUR+NZD の上昇が目立つ
- ◎スイスの小売売上高、製造業 PMI は速報値・予想を下回る→ USDCHF や EURCHF の影響は見られず
- ◎スウェーデン・ノルウェー・イタリア・ドイツと、ユーロ圏の製造業 PMI は良好→ EUR 買いの流れが加速
- ◎英国の製造業 PMI は前回・予想を大幅に上回る→ GBP 買いの流れが加速し、ドル売り相場をリード
- ◎ドイツ 10 年債入札、ポルトガル短期入札→ 利回り低下し順調に消化、債券市場に好影響を与え、EUR 買い材料が新たに加わる
- ◎ドイツ CPI は予想を上回るマイナス幅、ユーロ圏 CPI は予想・前回と変わらず→ 相場への影響は見られず
- ◎米 ADP 雇用統計は予想・前回は下回る→ ドル売りの材料となるが相場は動かず
- ◎米 ISM 製造業景気指数は前回は上回るが予想より弱い→ 支払価格・新規受注は上昇、雇用は低下で相場への影響は見られず

USDJPY

アジア市場では朝方の 76.30 を高値に上げ止まり、他の主要国も総じて小動きに終始、本邦勢のドル売りやクロス円での円買いに、仲値過ぎには 76.14 割れまで下落、大枠 76.15~25 の狭いレンジで取引が続いた。欧州市場では、76.25 近辺を高値に、欧州株が上昇しリスクオンの流れにドル売りが加速、クロスでは円売りが強まる中で、76.00 以下のストップを試し 76.00~05 の水準まで値を下げた。米国市場に入っても、大枠 76.10~17 のレンジで取引が続いたが、76.00 割れのトライを失敗、欧州市場の引け近くにはポジション調整に 76.30 台まで値を戻したが、引き続き戻りも限定的で 76.20 近辺で取引が続いている。

EURUSD

アジア市場は、大枠 1.3050~90 のレンジで取引が続いた。欧州市場は、1.30 割れのストップを試す売りに一時 1.3020 台まで下落したが、ギリシャ債務交換協議が今日にでも合意に達するのではとの観測や、欧州株式は強く、独・英国の 10 年債利回り上昇、リスクオンの流れに 1.3080 台を回復、独・ユーロ圏の製造業 PMI が強く 1.3150 台まで続伸し、大枠 1.3115~35 のレンジ内の取引から、ギリシャ政府報道官がギリシャ債務交換協議と第 2 次金融支援の合意は数日内と発表し買いの流れが加速し、1.32 台まで上昇した。米国市場は、ファンド筋の売りに一時 1.3150 台まで値を下げたが、CTA など幅広い買いに底堅く、米経済指標への反応は鈍く、ロンドンフィキシングでは 1.3210 台まで続伸、原油価格の急落もあり、欧州勢の利食い売りに一時 1.3145 近くまで値を下げている。

AUDUSD

アジア市場では、朝方発表された弱い豪住宅関連の経済指標に、一時 1.0590 台まで値を下げたが追従売りはなく、中国製造業 PMI が強く出ると 1.0630 台まで上昇したが、こちらも追従の買いもなく、強弱の材料が見られる中で、大枠 1.0600~25 の狭いレンジで取引が続いた。欧州市場に入ると、EURUSD の売りに一時 1.0570 台まで値を下げたが、ギリシャ債務交換協議が今日にでも合意に達するのではとの観測や、欧州経済指標は良好でリスクオンの流れに 1.0680 台まで上昇、大枠 1.0660~75 のレンジ取引から、EUR や GBP がリードするドル売りに 1.0710 台まで上昇した。米国市場は、1.0700 近辺を底値にロンドンフィキシングでは 1.0740 近くまで続伸、原油価格の急落もあり、欧州勢の利食い売りに 1.0690 近くまで値を下げている。

金・原油価格

実需筋の買いに比較的底堅い展開が続いた金相場と裏腹に、米 EIA 週間石油在庫統計は予想外に在庫が増加、発表直後から原油価格は大きく値を下げている 原油在庫 418 万バレル(予想 260 万バレル)、ガソリン 302 万バレル、精製品 -13.5 万バレル、製油所稼働率 81.8%(-0.4%)。ガソリン消費量が日量 797 万バレルで 10 年ぶりの低水準となった。

◎Spot.WTI(Light Crude Oil)

アジア市場は、取引開始直後の 98.18 を底値に 98.80 近くまで上昇、大枠 98.50~80 のレンジで取引が続いた。欧州市場に入り、ギリシャ債務交換協議が本日中に合意に達するのではとの思惑や、堅調な欧州株や経済指標にリスクオンの流れが強まり、99.30 台まで上昇した。米国市場に入り一時 98.70 割れまで値を下げたが、99.40 台まで続伸し、大枠 98.70~99.25 のレンジで取引が続いたが、米 EIA 週間石油在庫統計で在庫が予想外に増加し、98.10 近くまで下落、98.90 台を戻り高値に、97.50 を割り込みクローズにかけては 9710 近くまで値を下げている。

◎Spot.Gold

アジア市場は、実需の買いに 1735 以下は底堅く、1735~1740 のレンジで取引が続いた。欧州市場は、一時 1732 台まで値を下げたが、ギリシャ債務交換協議が本日中に合意に達するのではとの思惑や、堅調な欧州株や経済指標にリスクオンの流れが強まり、1748 台まで続伸、大枠 1740~50 のレンジで取引が続いた。米国市場に入ると、一時 1740 割れまで値を下げたが、原油価格の急落の影響も限定的で、大枠 1740~50 のレンジで推移している。

昨日(2月1日)の主な発言・出来事

欧州関連	
ドイツ 10 年債入札は利回り低下し目標上限上回る	◎応札 56.83 億ユーロ、目標上限 50 億ユーロ、平均落札利回り 1.82% (前回 1.93%)、応札倍率 1.4 倍 (前回 1.3 倍)
ポルトガル短期入札の利回りは低下し発行は目標の上限	◎3 か月、6 か月物計 15 億ユーロ、目標上限 12.5~15 億ユーロ、6 か月物、平均利回り 4.068% (1 月 18 日 4.346%) 低下、応札倍率 2.6 倍 (1 月 3.0 倍)
ジョイブレ独財務相	◎ESM の規模は 5000 億ユーロで十分かは 3 月に見直すことで合意している
欧州連合 (EU)	◎NYSE ユーロネクストとドイツ取引所の合併は競争を損なし承認せず
グリリ・イタリア財務次官	◎2013 年に目標である財政の均衡を達成し、その時点で経済が成長していれば、2020 年までに公的債務の GDP 比率を 100% 未満に縮小できる
バイトマン独連銀総裁	◎新財政協定は、債務危機を克服するのに不十分で、将来の欧州の財政統合につながるものではない ◎新財政協定は財政同盟の土台にならない
ガスパル・ポルトガル財務相	◎ポルトガルの調整計画は十分軌道に乗っている ◎2012 年の構造的赤字は GDP 比 2.6% を見込む ◎2013 年に債券市場に復帰の計画

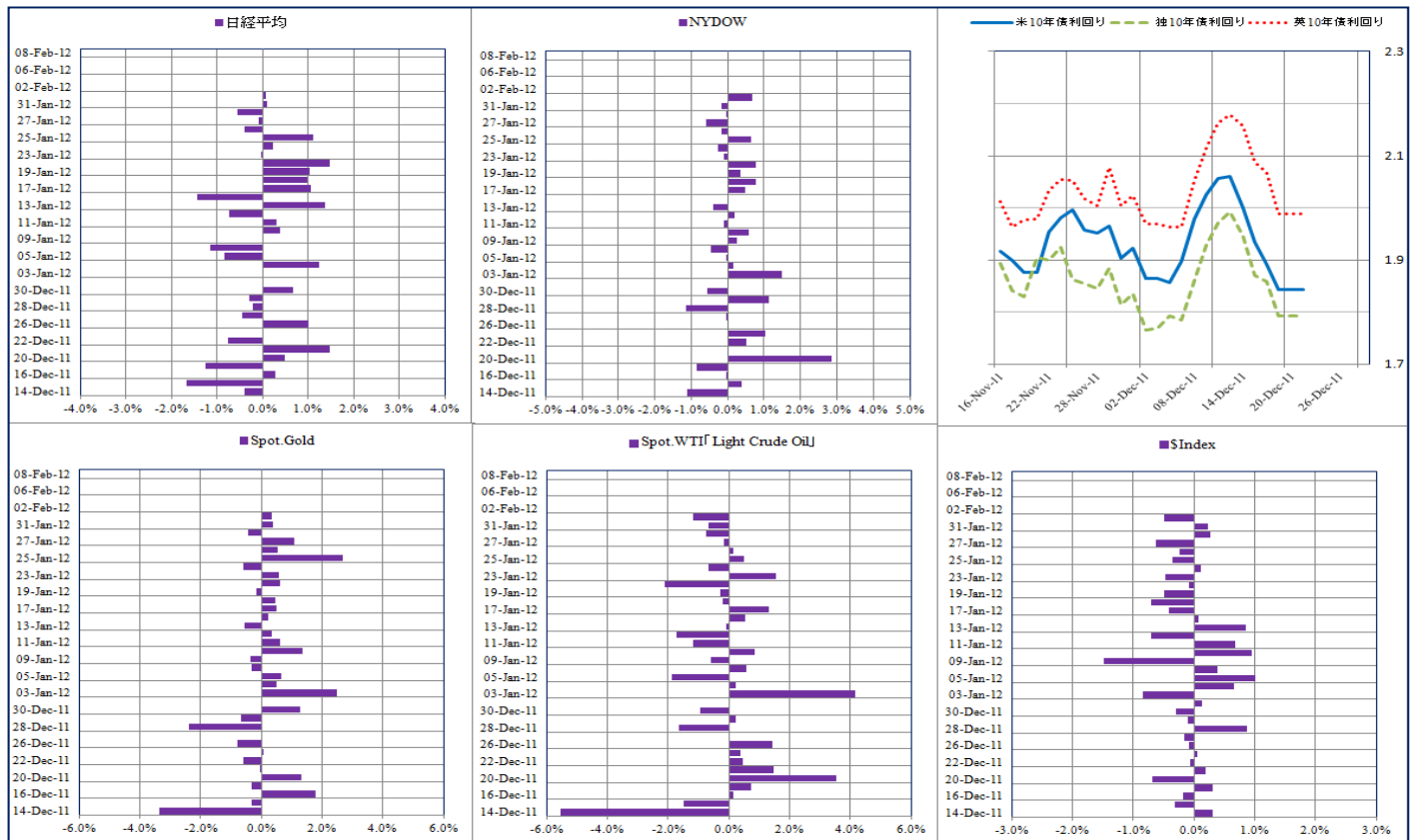
ギリシャ関連	
銀行筋・当局者	◎ギリシャ政府と民間債権者との債務減免協議は早ければ 2 月 1 日に合意する可能性 ◎合意には ECB など公的部門の貢献が必要とみられ、この問題が協議の最大の争点になっている
フェルトドイツ政府経済諮問委員会委員	◎民間債権者による 70% のヘアカットでは、ギリシャの債務危機脱却を援助するには不十分だと思われる ◎公的セクターの債権者もある程度のヘアカットを受け入れるよう求められている ◎ドイツの場合はドイツ復興金融公庫 (KfW) がギリシャに提供した資本を放棄するべき ◎ギリシャの予算編成に拒否権を持つ「予算委員」の設置を国内の一部当局者が提案しているが、ギリシャのような主権国家を実質的に監督できるとするのは幻想だ
ギリシャ・カティメリニ紙	◎IMF はギリシャ政党の指導者に経済計画を守るとの保証や、ギリシャ 3 政党指導者に首相指示の保証を求める
銀行筋・当局者	◎ギリシャ政府と民間債権者との債券交換協議は 2 月 1 日に合意する可能性 ◎銀行や生保は 70% の損失を受け入れる用意があり、ギリシャの債務は 1000 億ユーロに削減される
バレイラ・ポルトガル経済相	◎公共輸送機関は GDP 比 10% の 170 億ユーロで、持続不可能な債務があり、再編を計画
米 CNBC	◎ギリシャ政府と民間投資家の合意まであと数時間
ギリシャ政府報道官	◎ギリシャ政府は債務交換協議と、国際機関による第 2 次金融支援の合意が数日以内に完了する見通し ◎双方は相当の前進があり、完了間近に来ている
IIF	◎債務交換協議は建設的な話し合いを断続的に継続
ギリシャ・イメリシア紙	◎ギリシャは EU と IMF で協議し、今年 GDP 比 2% に相当する 44 億ユーロの債務削減を計画
複数の関係者 (WSJ 紙)	◎ドイツはギリシャに大幅な予算削減を求めており、民間債権者との債務再編合意がドイツと IMF の意見の相違で妨げられている

AUD	ギラード豪首相 = ◎豪ドルは、今後数年間に渡り比較的高水準にとどまる見通し ◎経済は変化に対応する必要があると輸出業者に警告
CHN	謝旭人・中国財政相 = ◎外需の減退で国内輸出産業の伸び鈍化を予想 ◎中国経済は2012年に下振れリスクに直面 ◎世界的に高水準の流動性がコモディティ価格を押し上げ、中国では依然としてインフレ圧力が強い
USD	オバマ米大統領 = ◎住宅市場の底上げに、住宅ローン借り換え支援の計画を発表
USD	PIMCOのグロース氏 = ◎主要国の中銀が支持する事実上のゼロ金利政策は、信用創出どころか破懐につながりかねない ◎金融や財政の過剰緩和にはコストが伴うが、先進国は結果的にこの膨大なコストに苦悩に陥る可能性がある ◎意図しているのは投資見通しへの警告
USD	ブロッサー・フィラデルフィア連銀総裁 = ◎FOMCが決定した低金利見通しの期間延長を支持しない ◎金融緩和の去らなく緩和を正当化する理由はほとんど見当たらない

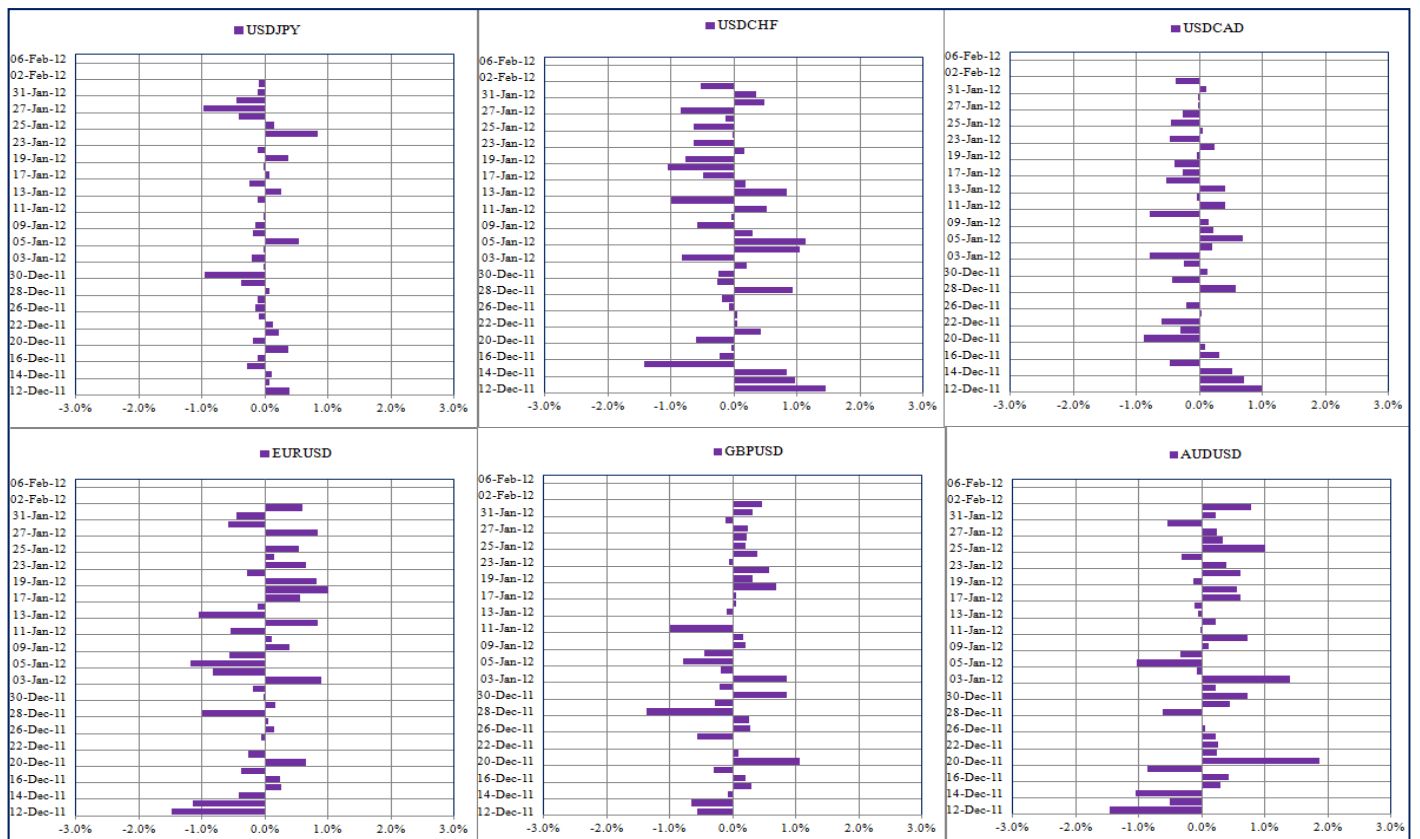
昨日(2月1日)の経済指標と結果

7:30	AUD 1月 AIG 製造業指数=51.6(予想 前回 50.2)
9:00	AUD HIA 新築住宅販売=-4.9%(予想 前回 4.4←6.8%)
9:30	AUD 第4四半期 住宅価格指数=前期比-1.0%(予想-0.6% 前回-1.9←-1.2%)、前年比-4.8%(予想-3.3% 前回-3.4←-2.2%)
10:00	CHN 1月 製造業 PMI=50.5(予想 49.6 前回 50.3)
11:30	CHN 1月 HSBC 製造業 PMI=48.8(予想 前回 48.7)
16:00	GER 1月 EU 基準消費者物価指数・速報値=前月比-0.5%(予想-0.4% 前回 0.7%)、前年比 2.3%(予想 2.4% 前回 2.3%)
17:15	CHF 12月 小売売上高=前年比 0.6%(予想 前回 1.8%)
16:00	GBP 1月 ネーションワイド住宅価格=前月比予想-0.2%(予想-0.2% 前回-0.2%)、前年比 0.6%(予想 1.2% 前回 1.0%)
17:30	CHF 1月 製造業 PMI=47.3(予想 51.0 前回 49.1←50.7)
17:55	GER 1月 製造業 PMI・確報=51.0(予想 50.9 前回 50.9)
18:00	EUR 1月 製造業 PMI・確報=48.8(予想 48.7 前回 48.7)
18:30	GBP 1月 製造業 PMI=52.1(予想 49.8 前回 49.7←49.6)
19:00	EUR 1月 消費者物価指数・速報=前年比 2.7%(予想 2.7% 前回 2.7%)
22:15	USD 1月 ADP 雇用統計=17万人(予想 18.2万人 前回 29.2←32.5万人)
0:00	USD 12月 建設支出=前月比 1.5%(予想 0.5% 前回 0.4←1.2%)
0:00	USD 1月 ISM 製造業景気指数=54.1(予想 54.5 前回 53.1←53.9)、支払価格=55.5(予想 49.8 前回 47.5)、新規受注=57.6(前回 54.8)、雇用 54.3(前回 54.8)、価格=55.5(前回 47.5)

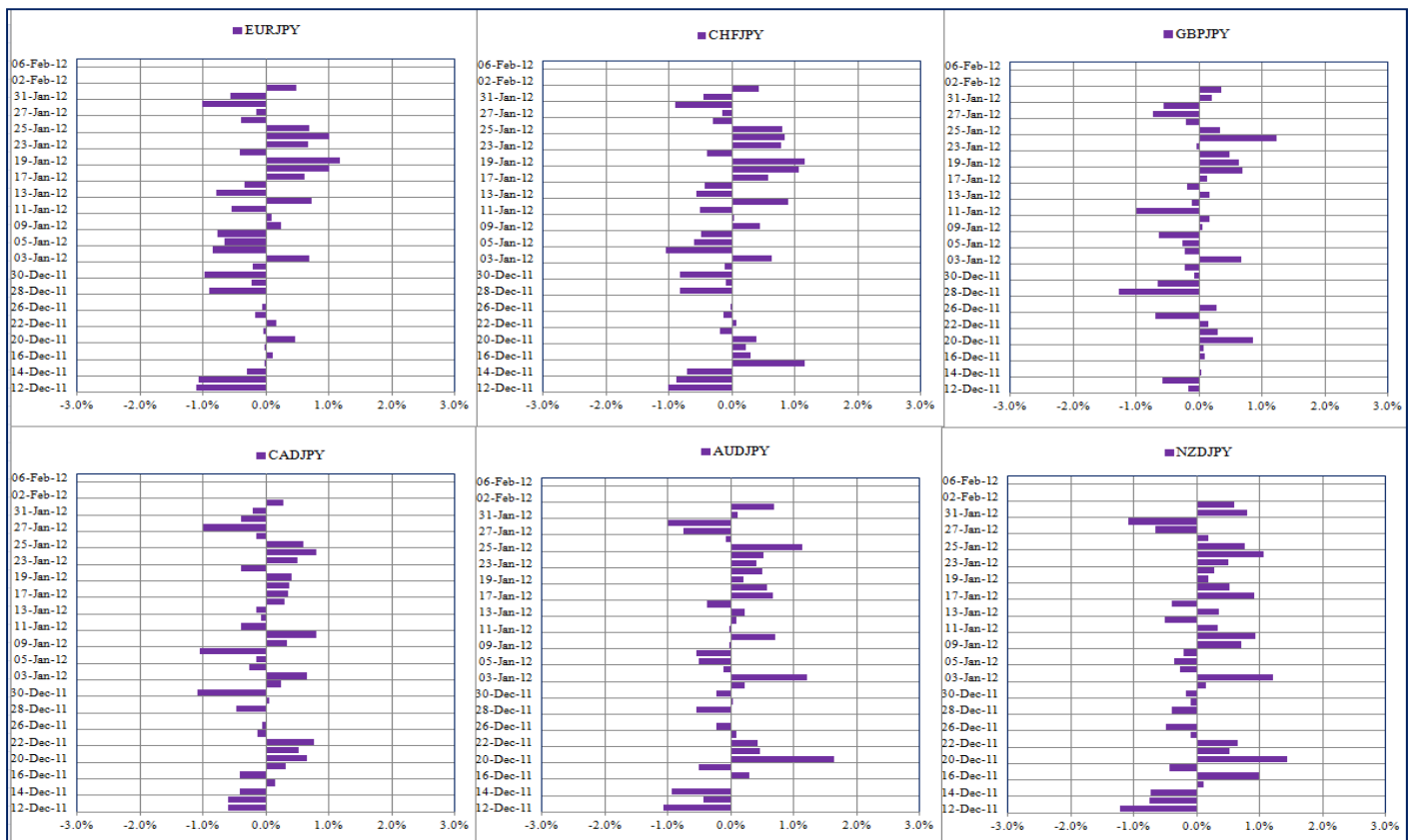
日経平均株価・NYダウ平均株価・SpotGold・SpotWTI・\$Index の(Daily 変動率)、10年債利回りの Daily 推移と比較



主要通貨の Daily 変動率 (%)



円クロスの Daily 変動率(変動率)



USD=米国、JPY=日本、GER=独、GBP=英国、CAD=カナダ、AUD=豪州、NZD=ニュージーランド、
CHF=スイス、NOK=ノルウェー、SEK=スウェーデン、CHN=中国、FFR=フランス

本レポートで言及している市場予想の出所=fx360.com,ロイター社。各国経済指標・日時の出所=fx360.com ロイター社

外国為替保証金取引 (FX) 及び CFD には、高いレベルのリスクが潜在しており、全てのお客様に適した投資商品とは言えません。高いレベルのレバレッジは、利益ももたらしますが、損失ももたらします。預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、損失に耐えられない金額を投資するべきではありません。過去のパフォーマンスが、必ずしも将来の結果を示唆しているわけではありません。

本レポートの内容は

- 情報提供の目的にのみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 筆者によって提供される市場に関する如何なる予測や見解についても、その正確性が検証されている訳ではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

GFT はお客様への一般的な情報として本資料を提供していますので、投資判断を行う際の詳細な独自調査に代えて本資料に依拠することはお控えください。

GFT は、本資料に含まれる情報に基づいた投資の結果として発生した損害に対して、如何なる責任も負いません。また、投資、法律、会計、税務、またはその他の専門的助言についても、一切提供することはありません。これらの専門的助言が必要な場合は、専門家にご相談ください。

同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録(関東財務局長(金商)第268号)および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。www.gftforex.co.jp

© 2011 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複写・複製・転載を禁ず。

CD08J.005.113011